

解 答

- 一 問一 I 人間が最初に家畜にした動物は羊であろう
 II 羊なら太古の人類でも容易に飼育できたろう III 納得
 問二 一瞬首をひねった末
 問三 3 歯は弱く舌はなめらかで食糧の多くを食い残すこと。
 4 食糧を過剰に蓄え、相当量を食べきれずに捨てること。
 問四 イ
 問五 a 氷山の一角 b 苦肉の策 c 面の皮が厚い（鉄面皮）
 問六 a 質問 b 容易 c 感情 d 上司

二 1 給 2 空 3 針 4 起 5 誌

三 1 ア 2 エ 3 イ 4 ウ

四 1 ウ 2 エ 3 オ 4 カ 5 イ 6 コ 7 キ

五 1 ストック 2 チェック 3 テクニック 4 カムバック 5 パニック

六 1 a 口 b 調 c 理
 2 a 語 b 学 c 術
 3 a 件 b 数 c 字
 4 a 流 b 通 c 過
 5 a 合 b 同 c 断

解 説

一

問一 I：考古学者のことは「多分、羊でしょうねえ。」だけでは何のことかわかりません。なにが羊なのか、きちんと主語を補いましょう。II：傍線Ⅰに含まれる「そんなこと」の内容を考えましょう。III：「うなづく」には“納得”“同意”“同調”などの意味がありますが、自分の疑問に対する相手の回答にうなずいたわけですから、この場合は“納得”がベストといえます。

問三 傍線3・4を含む部分は、「犬は、この人類の肉体的不器用さと性格的貪欲さを察し、人間の近くにいと食糧にありつけることを知った。」となっていますので、傍線3・4ともに「この」という指示語の内容を読み取ればよいことがわかりますね。本文12～15行目を確認しましょう。

二

□に入る漢字を列举しておきます。

1…糸、2…穴、3…十、4…走、5…志、A…言、B…工、C…己、D…合、E…金

三

1…「判断する」という動詞につく打ち消しの助動詞。「降らぬ」「言えぬ」などの「ぬ」と同じはたらき。2…「ふがない」という形容詞の一部。3…「遠い」につく打ち消しの形容詞。4…「存在しない」という意味の形容詞。